



春日小だより

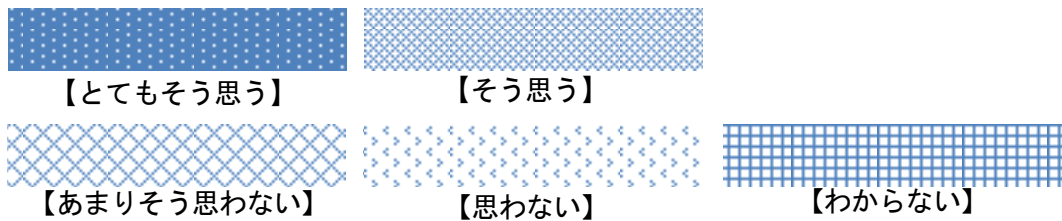
平成28年3月8日
練馬区立春日小学校
校長 泉崎 春海
学校通信 臨時号

平成27年度 春日小学校 学校評価結果について

校長 泉崎 春海

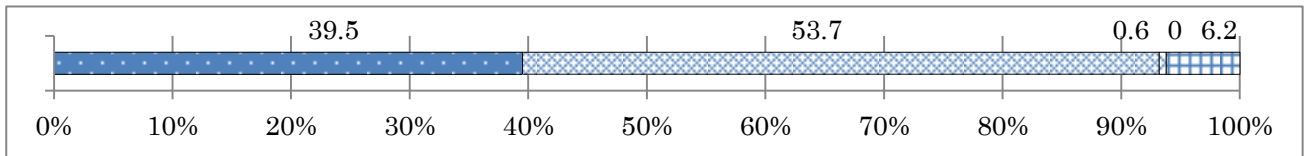
「平成27年度 教育活動についてのアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。春日小学校では、教育活動の改善・充実のために「学校評価」を行っています。「学校評価」では、保護者や地域の皆様のアンケートや児童のアンケート、教職員の自己評価を行った上で、それらの結果について、学校評議員の方々にご意見をいただく「学校関係者評価」を実施しました。学校評価の結果から分かった成果や課題を十分に検討し、平成28年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。

〈凡 例〉

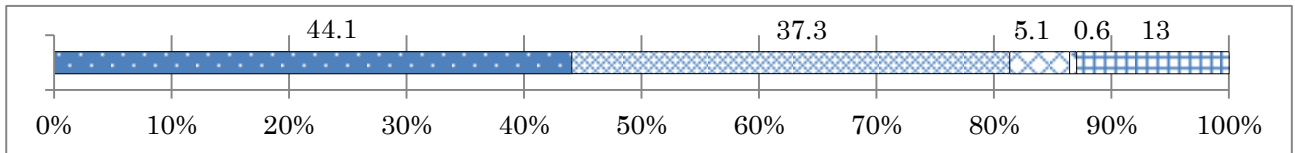


1 保護者のアンケート結果

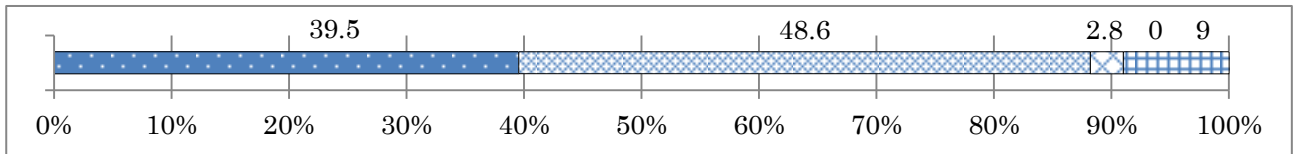
(1) 学校では、わかりやすい授業を行っている。



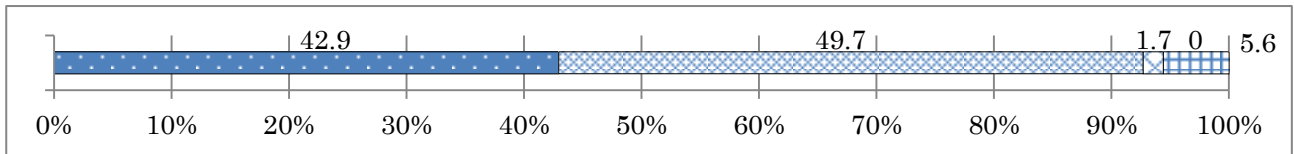
(2) 算数では少人数指導（3～6年）・二人の教師による授業（1～2年）を行うことで、学習がわかりやすくなっている。



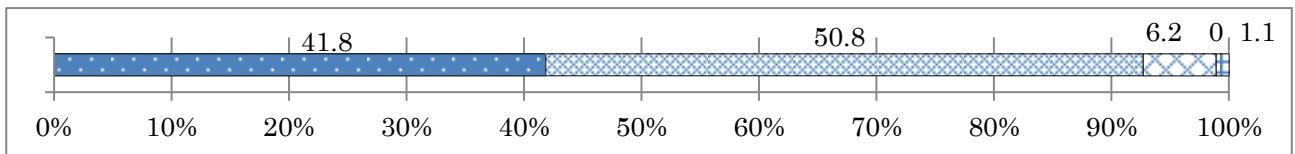
(3) 学校では、授業の約束が守られている。



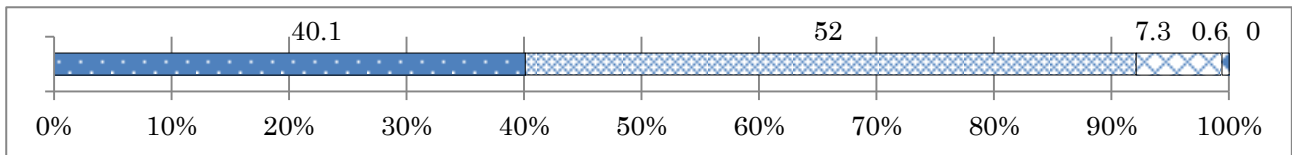
(4) 学校では、工夫した授業が行われている。



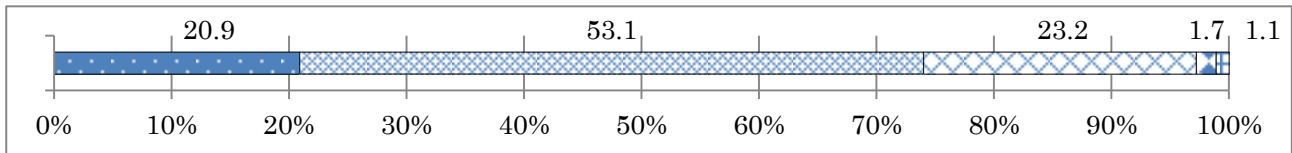
(5) 子供は、授業を通して基礎的な力を身に付けている。



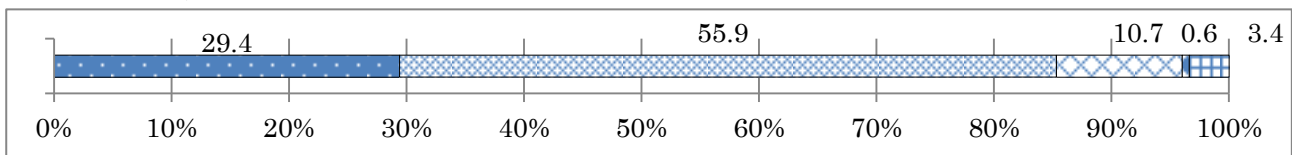
(6) 子供は、基本的な生活のきまりを身に付けている。



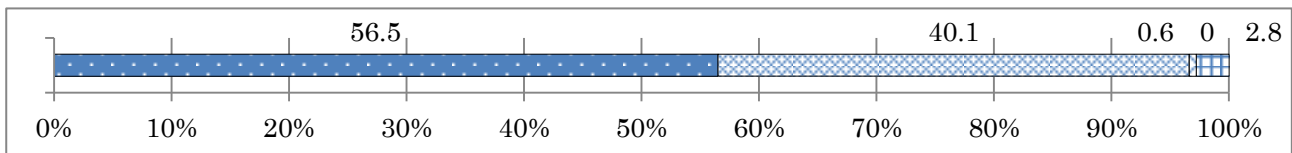
(7) 子供は、あいさつや返事ができている。



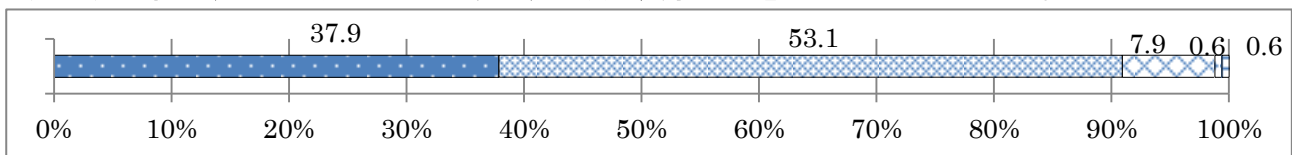
(8) 子供に、まわりの人に対する思いやりや親切な心が育っている。



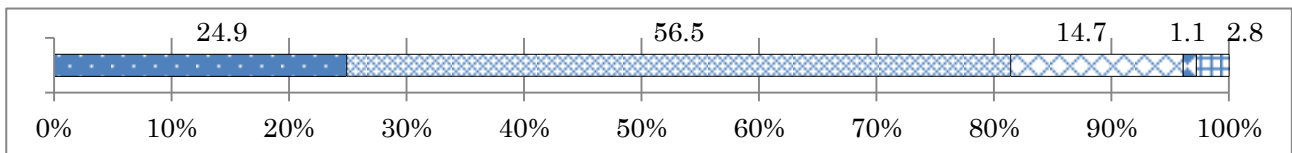
(9) 学校では、楽しい体育の授業が行われている。



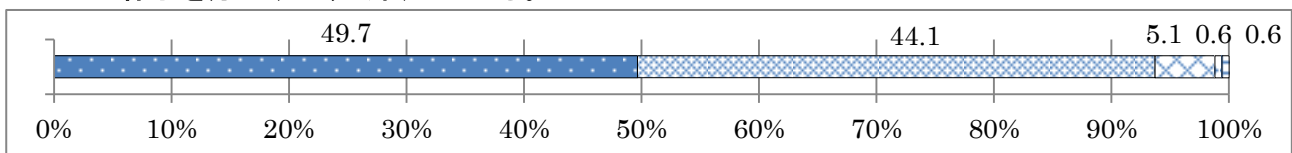
(10) 子供は、元気に過ごせるように、睡眠や食事などをきちんととっている。



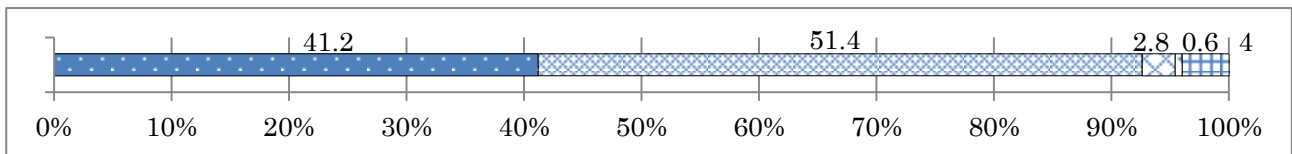
(11) 子供は、事故や危険なことから自分の身を守るように行動している。



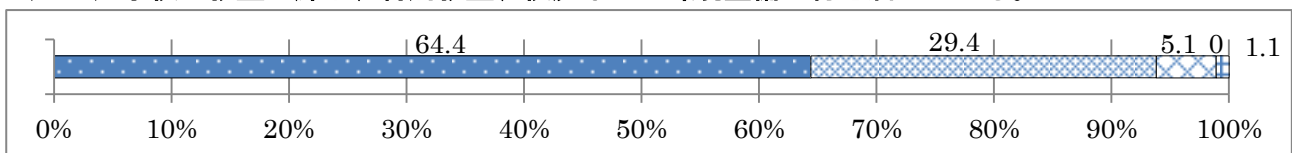
(12) 学校は、保護者会や個人面談、学校だより、ホームページなどを通して、学校や子供たちの様子を分かりやすく伝えている。



(13) 学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる。



(14) 学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている。



【 考 察 】

(1) 「学校ではわかりやすい授業を行っている」について

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が93, 2%でおおむね良好と言えます。保護者・地域の方のご意見に「先生の話し方が分かりやすい。」「学習内容が分かりやすく、自宅での学習にも参考になる。」「春日小は人数が少ないので、先生が目が行き届いているように感じられる。」などがありました。これからも、児童の実態をしっかりととらえ、学習のめあてを明確にした授業を行っていきます。

(2) 算数科「少人数習熟度別指導」(3～6年) および「チームティーチングによる指導」(1～2年) について

肯定的な評価が81, 4%で「少人数の方が集中できるので、勉強の楽しさが小学生のうちに身に付けられる工夫があると思う。」という意見がありました。その一方で、習熟度別学習のクラスの決め方については「少人数のクラス決めは、先生方が決めた方がよいと思う。」という意見などもありました。少人数習熟度別学習については、レディネステストを行い、その結果を踏まえた上で、本人の意欲を大切にするために希望を取り入れながら編成しています。児童が学習しやすく、学習内容をきちんと身に付けることができるクラス編成になるよう工夫していきます。

(3) 「学校では授業の約束が守られている」について

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が88, 1%で肯定的に評価をいただいています。「どの学級も静かに集中し授業を受けている。」というご意見のように、今後もよい学習習慣を身に付けていきたいと思えます。

(4) 「学校では工夫した授業が行われている」について

肯定的な評価は92, 6%でした。「校外活動が多いのはとても魅力的だと思う。」「体験する学習を取り入れることで、子供たちの気持ちが高まっているのはよいと思う。」という意見をいただきました。これからも、児童が様々な体験や活動ができるようにしていきます。

(5) 「子供は、授業を通して基礎的な力を身に付けている」について

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が92, 6%でした。「子供の学習をよく見て学習を進めていただいているので、勉強したことがよくわかってきた。」という意見がある一方で、「授業のスピードが速いと感じることがある。」という意見がありました。各教科で個別指導を行うとともに、朝学習『春日タイム』でドリルなどを使って繰り返し学習することで力を付けていきます。

(6) 「子供は基本的な生活のきまりを身に付けている」について

肯定的な評価は92, 1%でした。「言葉遣い、礼儀ができていて、すばらしい。」「学校に来るとどの学級も落ち着いており、きまりが守られていると思う。」という意見がありました。また、「先生は、子供を叱る・注意するだけでなく、良いところも見つけて子供のことを一番に考えて対応してほしい。」「学校のきまりなどを、もう少し分かりやすく伝えてほしい。」などという意見もありました。教職員が児童の話をよく聞き、叱るときは、なぜ叱るか分かるように、児童の気持ちを大切にしていきます。また、『春日小のやくそく』を年度当初に配布するときには、子供に分かるように説明していきます。

(7) 「子供はあいさつや返事ができている」

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が74%で、この項目は80%を下回る結果でした。「ボランティアで学校内を歩いていると、廊下で会う子供たちがあいさつをしてくれて気持ちが良い。」という意見がある反面、「大きな声で挨拶をする子が減っていると思う。」「通学路に立ってくださっているボランティアの方々へのあいさつができていない子供を時々見かける。」などという意見

が寄せられました。あいさつや返事については継続した指導が大切なので、引き続き全校朝会や学級での指導を行うとともに、児童がより意識しやすいように、教室掲示をするなど工夫していきます。

(8) 「子供に、まわりの人に対する思いやりや親切な心が育っている」について

肯定的な評価は85, 3%でした。「11月ふれあい月間資料の『ふわふわ・ちくちく言葉』は家庭でも一緒に考え、大人も普段の言葉遣いなどを反省するよいきっかけになったので、年に数回取り組む機会（保護者会なども活用して）を作るとよいと思う。」という意見をいただきました。このような資料を次年度も活用していきたいと思います。また、「子供同士の遊びの中でも乱暴な言葉を聞いて驚くことがある。言葉の暴力もあってはならないと思う。」というように、テレビやゲームの影響もあってか、言葉遣いが乱暴になってしまうのは大きな課題です。他の人の気持ちを考えた言葉遣いや場面によって適切な言葉遣いができるように指導を続けていきます。

(9) 「学校では楽しい体育科の授業が行われている」について

96, 6%という高い肯定的な評価をいただきました。「外遊びにあまり関心のなかった我が子が、進んで休み時間に遊ぶようになった」という意見など、校内研究で体育科の授業改善・充実を目指した成果が表れていると考えます。引き続き、運動が楽しいと感じるようにしていきます。

(10) 「子供は、元気に過ごせるように、睡眠や食事をきちんととっている。」について

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が91%でした。睡眠や食事は健康な生活を送るための基本です。次年度も「健康に関するリーフレット」などを使って、児童の健康についての意識をご家庭の皆様と共に高めていきたいと思います。

(11) 「子供は、事故や危険なことから自分の身を守るように行動している」について

81, 4%の肯定的な評価をいただきました。児童が自分自身で身を守る力を身に付けるように指導を行うとともに、地域や保護者の皆様にご協力いただき、防災訓練などを実施していきます。

(12) 「学校は、保護者会や個人面談、学校だより、ホームページなどを通して、学校や子供たちの様子を分かりやすく伝えている。」のについて

「とてもそう思う」「そう思う」の合計が93, 8%でした。「家庭での様子を伝え、学校での様子・取組を伝えてもらい、保護者として安心している。」「先生が子供のためにきちんと向き合ってくれて、子供の良いところを見逃さず、ほめて伸ばそうと、引き出そうとしてくれているのがとても良い。何があっても相談にのってくれるという学校の対応に感謝している。」という意見がありました。今後も、学校や児童の様子を分かりやすく伝えていきたいと思います。

(13) 「学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる」について

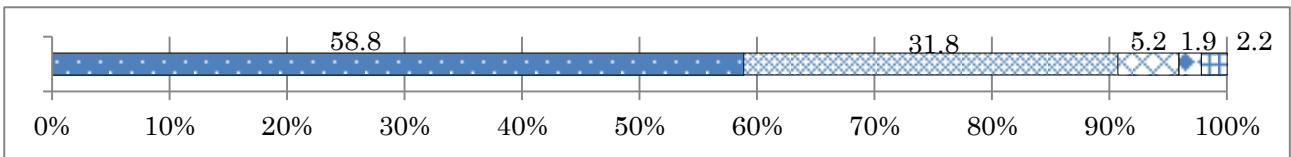
肯定的な評価は92, 6%でした。「地域に見守られた良い学校だと感じる。学習にも楽しく意欲取り組んでいるようで安心だ。」「これからも閉ざされた学校ではなく、開かれた学校として今後もお願いしたい。」いただいたご意見のように、今後も保護者・地域の皆様と連携し、開かれた学校を目指します。

(14) 「学校の教室や廊下、特別教室、校庭など環境整備は行き届いている」について

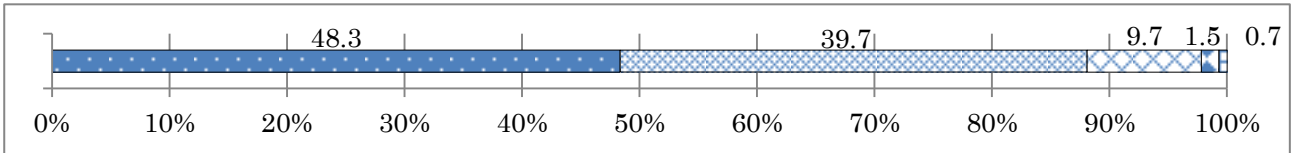
「学校に来るといつもきちんとそうじがされていて気持ちが良い。」「どの階に行っても、廊下などがきれいにそうじされていて環境が良い。」というご意見もあり、93, 8%の肯定的な意見をいただきました。これからも、よい教育活動がおこなえるように環境整備に努めます。

2 児童のアンケート結果

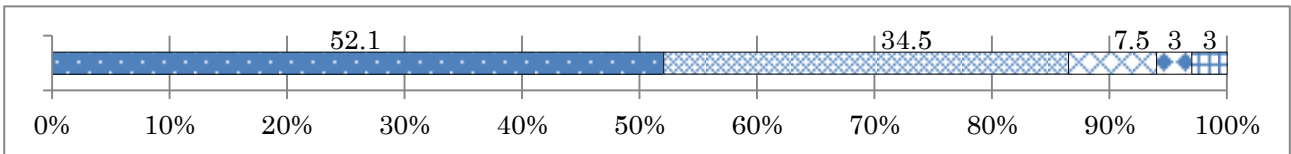
(1) 学校が楽しいですか。



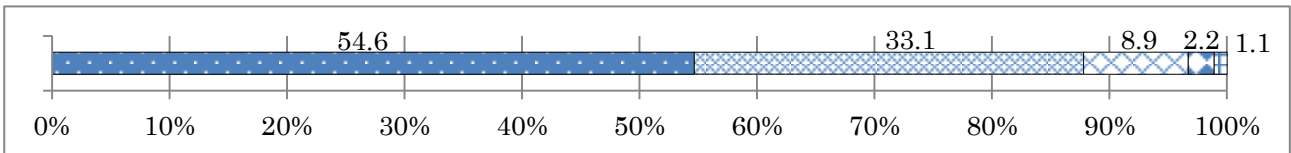
(2) 勉強がよく分かりますか。



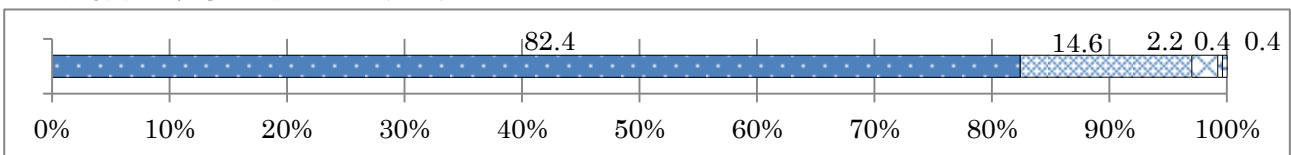
(3) 勉強のときの約束を守っていますか。



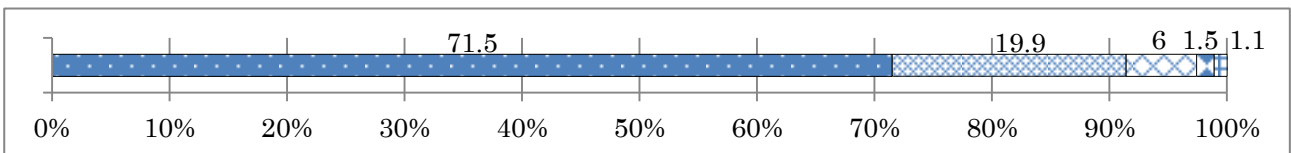
(4) 算数の勉強はよく分かりますか。



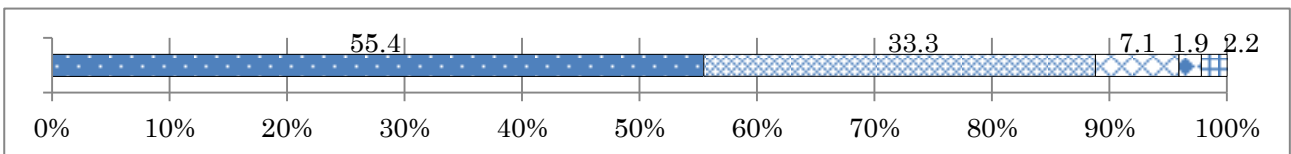
(5) 体育の勉強は楽しいですか。



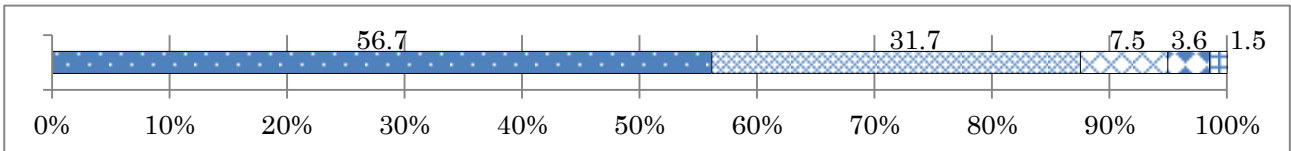
(6) 体育の勉強でいろいろなことができるようになりましたか。



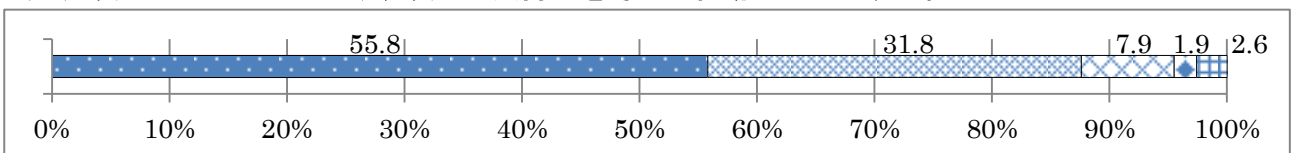
(7) 春日小の生活のきまりを守っていますか。



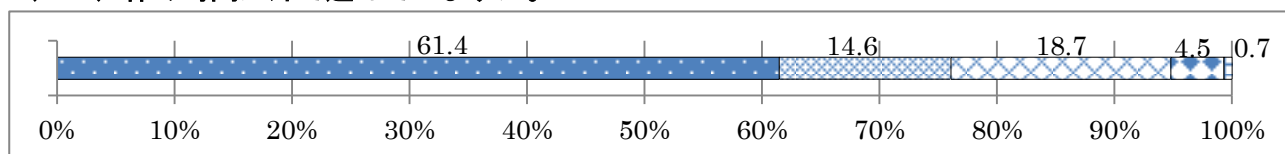
(8) あいさつや返事ができていますか。



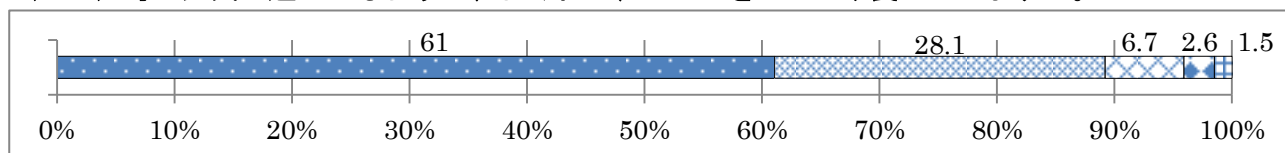
(9) 友達となかよくしたり、友達の気持ちを考えて行動していますか。



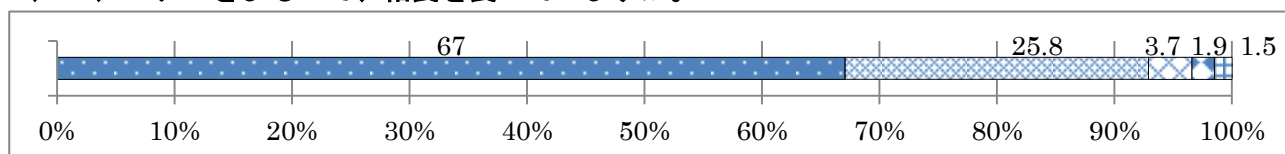
(10) 休み時間に外で遊んでいますか。



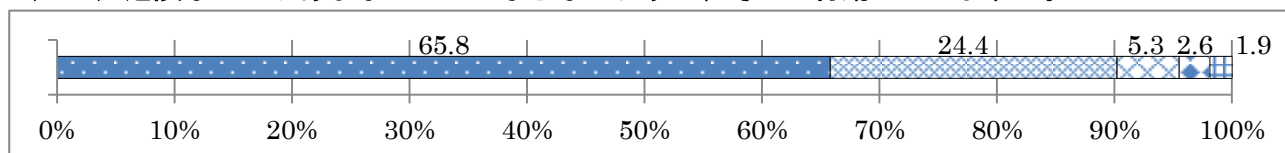
(11) 毎日元気に過ごせるように、よくなって、ごはんをしっかり食べていますか。



(12) マナーをまもって、給食を食べていますか。



(13) 危険なことやあぶないことにならないように、考えて行動していますか。



【 考 察 】

アンケートのほとんどの項目で「とてもそう思う」「そう思う」の合計が85%を超えています。特に、「体育の勉強は楽しいですか。」「体育の勉強でいろいろなことができるようになりましたか。」では、97%、91%という高評価になっています。体育科の研究発表に向けてこれまで取り組んできたことがこの評価に結びついたと考えます。しかし、その一方で、「休み時間に外で遊んでいますか。」の肯定的評価が76%という結果になっています。すすんで外に出て遊ぶ習慣づくりのために、次年度も「全校一斉運動遊び」を続けていきます。

3 教員の自己評価の結果

よくできた・・・4 できた・・・3 あまりできなかった・・・2 できなかった・・・1

項 目	評 価
計画的な授業を実施する。	3.5
わかりやすい授業を実施する。	3.4
算数科少人数習熟度別指導またはチームティーチングでの授業を実施する。	3.3
学習習慣を身に付ける	3.1
小中連携教育を充実させる。	3.1
パソコン、プロジェクター、DVD、電子黒板等を活用する。	2.8
基本的な生活習慣を身に付ける。	3.1
あいさつ、返事の指導をし、定着させる。	3.1
道徳の授業を充実させる。	3.0

思いやりや優しさを育てる。(いじめの防止)	3. 0
体育の授業を充実させる。	3. 5
休み時間の外遊びを推進する。	3. 1
健康な生活について指導する。	3. 1
危険なことを予測したり、回避したりする力を育てる。	3. 0
望ましい食習慣を身に付ける。	3. 2
保護者・地域の方と連携して学習を充実させる。	3. 0

今回の教職員自己評価では、ほとんどの項目の3ポイントを超えました。今回、唯一、評価が3ポイントを越えなかった「パソコン、プロジェクター、DVD、電子黒板等を授業で活用する。」は、実技研修を設定するなど、より一層活用していけるように努めていきたいと思えます。

4 学校関係者評価

自己評価の結果を受けて、学校評議員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

(1) 成果

- ・ 「学校が楽しい」と、90%以上の児童が回答していることは一番大切なことである。
- ・ 教師が授業を行う上で、児童をしっかりと把握し、支援していることはよいことである。
- ・ 児童が落ち着いた学校生活を送っているのは評価できる。
- ・ 校内研究で、体力向上に取り組み、体育科が好きな児童が増えたのはよいことである。大きな成果である。
- ・ 研究発表会で研究の成果を発表できたこともよかった。
- ・ 多くの児童が「勉強がよく分かる」「友だちと仲良くしたり、友だちの気持ちを考えたりして行動している」ということは大切なことで、評価できる。

(2) 課題

- ・ 小中連携教育で、ルールについても共通にできるようにした方がよい。
- ・ 今年度、校内研究で得た成果を他の教科にも是非活かしてほしい。
- ・ 算数少数数習熟度別学習のクラス分けの仕方や学習の仕方が保護者に十分に伝わっていない。塾のレベル別クラスなどとは違うことを説明した方がよいのではないか。
- ・ 特別支援教室設置に向けて、今後、支援を必要とする児童に十分な配慮をしていってほしい。
- ・ あいさつは深い課題である。
- ・ 芝生の養生期間が長い。

(3) 改善策

- ・ 小中連携教育で、小学校と中学校の生活面で大切な点を共有していくことは重要なので、校区别協議会で情報を共有し、児童を指導していく。
- ・ 今年度の研究で得た成果は、次年度も引き続き行っていく。また、児童への「言葉かけ」など、他の教科でも研究内容を活かしていく。
- ・ 算数少数数習熟度別学習については、来年度から指導方法工夫改善加配教員に加え、学力向上支援員も入り、よりきめ細かく指導を行っていくので、その学習の仕方やクラス分けについて、年度当初の保護者会で分かりやすく説明する。
- ・ 平成29年度の特別支援教室に向けて、特別支援校内委員会を中心に計画的に準備を進める。
- ・ あいさつについては、「礼儀」として、継続して指導をしていく。保護者。地域にも協力をお願いする。

- ・ 次年度からは学芸会を行い、表現力を高めていく。
- ・ 芝生の養生期間については、芝生の状態を見ながら、長くなりすぎないようにする。
- ・ 思いやりの心を育てていくためにも「カスガモ班」（異年齢集団）の活動を計画的に行う。

5 今後の対応（平成28年度に向けて）

☆ より工夫した授業の実施 ～学力の定着のために～

算数少人数習熟度別学習については、次年度は、3～6年生では、学力向上支援講師が指導に加わります。「基礎・基本コース」をそれぞれ2クラスに分けて、より分かりやすい指導を行っていきます。年度初めに、算数少人数習熟度別学習での勉強の仕方やクラスの決め方などについて、児童に分かりやすく説明するとともに、保護者会でも説明を行います。

☆ 体験的な活動の充実

「総合的な学習の時間」や生活科を中心にして各教科で、体験的な学習を十分に行い、学び方やものの考え方を身に付けられるようにしていきます。保護者・地域の皆様などからゲストティチャーを招き、学習を充実させていきます。

☆ 「春日小のやくそく」の徹底

『春日小のやくそく』が子供たちによく分かるように、年度当初に説明していきます。また、保護者会等で保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いしていきたくと思います。

特に、「あいさつはとても大事なことである」ということをより意識しやすいように、あいさつに関する教室掲示を行っていきます。

☆ 体力向上を目指して

来年度も「体育の勉強は楽しい。」「体育の勉強でいろいろなことができるようになった」と児童が感じるように、今年度までの体育科の研究を授業に活かしていきます。そして、体育的活動（全校一斉運動遊び）は、児童がさらに楽しめるように工夫して行っていきます。

また、「運動」とともに、「栄養バランスのとれた食事」と「十分な睡眠」の大切さを、保健の授業だけではなく、健康診断時の保健指導や「健康に関するリーフレット『いきいき元気 春日の子』」の活用を通して、理解を深めていきたくと思います。ご家庭での協力もよろしくお願いいたします。

☆ 表現力の向上

来年度は、「学芸会」を実施し、児童の表現する力を高めていくことをめざしていきます。